

本邦初 記念すべき待望の全巻完全新訳



# 全訳 『美術家列伝』

ジョルジョ・ヴァザーリ

森田義之・越川倫明・甲斐教行・宮下規久朗・高梨光正 監修

〔全六巻〕

刊行にあたって

監修者代表 森田義之

ジョルジョ・ヴァザーリの『美術家列伝』（1550年第1版、1568年第2版）は、歴史上最初の公刊を意図した体系的な美術家の伝記集成であり、14～16世紀の約3世紀にわたるイタリアの画家・彫刻家・建築家の生涯と作品を知るうえで、最も基本的で重要な史料的价值をもつ古典的な美術文献である。

『美術家列伝 *Le vite de' più eccellenti pittori, scultori e architettori*』（1568年版）は、総序、技法論等に続いて、第一部（1300年代）31篇、第二部（1400年代）54篇、第三部（1500年代）81篇の計171篇の伝記および関連する諸論を含んでいるが、今回の日本語全訳の企画では、全体を6巻の構成とし、各伝記ごとに、解説と詳細な註、可能な限り多数の写真図版を付して、欧米各国の翻訳版にも見られない情報量にとんだ邦訳決定版を期した。

本書の刊行によって、イタリア・ルネサンス美術への理解と関心が、美術や美術史に関心をもつ人の枠をこえて、イタリアの歴史と文化に関心をい多く多くの読者へひろがることを期待してやまない。

欧米諸国で翻訳が繰り返されてきたが——  
我が国には全巻完訳の夢が叶うことはなかった——

ジョルジョ・ヴァザーリ

# 美術家列伝

——遂に美術史界の夢の実現がここに始動する

森田義之・越川倫明・甲斐教行・宮下規久朗・高梨光正 監修

各巻予価 31,500 円 (本体 30,000 円+税)

第1巻 A4判上製函入 本文 448 頁 ISBN978-4-8055-1601-0 C3370

〔全6巻〕

献辞 (コジモ1世/芸術家への献辞)  
総序  
建築論  
彫刻論  
絵画論  
第一部 序論  
チマブーエ  
アルノルフォ・ディ・ラーボ (カンピオ)  
ニコラ, ジョヴァンニ・ピサーノ  
アンドレア・ターフィ  
ガット・ガッティ  
マルガリトネ  
ジョット  
アゴスティーノ, アニョロ  
ステファノとウゴリーノ  
ピエトロ・ロレンツェッティ  
アンドレア・ピサーノ  
ブオナミーコ・ブッフアルマッコ



アンブロージョ・ロレンツェッティ  
ピエトロ・カヴァリーニ  
シモーネ・マルティニ  
タッデオ・ガッティ  
アンドレア・オルカーニャ  
ジョヴァンニ  
ジョヴァンニ・ダ・ボンテ  
アーニョロ・ガッティ  
バルナ・ダ・シエナ  
ドゥッチョ  
アントニオ・ヴェネツィアーノ  
ヤコボ・カゼンティノ  
スピネッロ・アレティーノ  
ゲラルド・スタルニーナ  
リッポ・フィオレンティーノ  
ロレンツォ・モナコ  
タッデオ・バルトリ  
ロレンツォ・ディ・ピッチ

第1巻 森田義之・野村幸弘・谷古宇尚・高梨光正・吉澤早苗・越川倫明 訳

第1巻より年1回刊行予定

ヴァザーリ『美術家列伝』【全6巻】

定価 31,500 円 第1巻を〔 〕冊申し込めます

ISBN 978-4-8055-1601-0 C3370

カーレル・ファン・マンデル  
『北方画家列伝』

尾崎彰宏・幸福輝・深谷訓子・廣川暁生 訳編

同時刊行予定

定価 33,600 円 (本体 32,000 円+税)

B5判上製函入 本文 680 頁 ISBN 978-4-8055-0705-6 C3071

ヴァザーリの『美術家列伝』のインパクトは、イタリア国内ばかりでなく、画家兼美術理論家カーレル・ファン・マンデルにも計り知れない衝撃を与えた。ネーデルラントにおいて、まとまった形での美術文献はこのマンデルの著作をもって嚆矢となす。とりわけ著名かつ貴重な歴史的作品である『北方画家列伝』は、マンデルの『絵画の書』の第4巻にあたり、本書はその本邦初の翻訳と注解・解説論文を収録する。

マンデル『北方画家列伝』〔 〕冊申し込めます

お名前

お電話

書店番様

ご住所